



令和元年6月7日

大鳥中学校便り 第3号

横浜市立大鳥中学校

3年生 修学旅行 沖縄

5月21日(火)~23日(木)

修学旅行を終えて

校長 新谷 隆司

先人は戦争を知らない我々に「平和」を残してくれました。「二度と戦を起してはならない」と。そのことを我々は感謝しなければならない。そして「平和とは何か」を学ばなければならない。と生徒たちにメッセージを送りました。「沖縄平和記念資料館での講話」「ひめゆりの塔」「ガマの入壕 体験」などさまざまな体験を通して多くのことを学んでほしいと考えました。

帰りに生徒たちに「あなたにとって平和とは何ですか」と聞いてみました。「3食食べられる」「笑っていられる」「遊ぶことができる」「何でもいえる」「友達と話ができる」「家に帰ると家族がいる」などの答が返ってきました

この3日間、自分が体験したことを記憶として残し、未来につなげていって欲しいと願っています。



この3日間は私たちにとってとても充実したものになりました。

1日目の平和学習では戦争について学習をしました。私が印象に残っているのは「ガマ」です。何も見えない暗い中での体験は、自分自身も顔を見えない暗い中での体験は、自分自身も顔を部さんの話を聞いて、命を落とされた人々の語り部さん、私たちが今、家族やたくさんの仲間と毎日楽しく過ごせると感謝の気持ちを改め、平和でいられることに感謝の気持ちでいっばい沖縄の生き物や植物について学びました。沖縄の貝殻でフレームを作ったり、その貝殻でオムレツやアクセサリーを作ったり、各家庭で楽しませるためのボウシ作りをしました。手が痛くなるほどの枚数を折りました。たくさんのおいしそうなパイナップルを折りました。たくさんのおいし

3日目の国際通りで

の自由行動ではグループの人たちとおそろいのTシャツを買ったり沖縄名物を買ったり、楽しい時間を過ごすことができました。

私は3日間を通して沖縄のことをたくさん学びました。それ以外にも大切な仲間が増え、その仲間と協力して、これからの大会や合唱コンクールなどで一致団結できました。



(修学旅行実行委員長 井守 琴美)